

# 劇場版 荒野に希望の灯をともし

## 上映会



アフガニスタン・パキスタンで貧しい生活に苦しむ人々に寄り添い、命を救ってきた中村哲医師のドキュメンタリー映画を通じて、命の尊さと平和の大切さを共に考えます(上映時間90分)。

■ とき **5月23日(土)**

開始:午後2時 ~ 開場:午後1時30分

■ ところ 中央公民館 2階ホール

■ 定員 50人

### お問い合わせ・申込み先

中央公民館に通常はがきでお申込みください。  
各公民館(中央・金剛・東)窓口でのお申込みの場合は、  
所定の用紙にご記入いただきますので、はがきは必要ありません。

ネット申し込みも可能です  
<https://logoform.jp/form/SMkm/1335600>  
上記URL、またはQRコードからお申し込みください。

富田林市立中央公民館  
〒584-0093 富田林市本町16番28号  
☎: 0721-24-3333



85  
円

584-0093

富田林市本町  
16番28号

富田林市立中央公民館  
講座係 宛

(はがき 裏面)

- (1)講座名
- (2)参加者  
・氏名・年齢(学年)  
(ふりがな)
- (3)郵便番号・住所
- (4)電話番号

## 5月12日(火)までに

## 中央公民館へ

共催 富田林市中央公民ラブ連絡会

# 武力で平和は守れない

これは「生きるための」戦いだ。

アフガニスタンとパキスタンで、病や貧困に苦しむ人々に寄り添い続けた男、  
 医師・中村哲。戦火の中で病を治し、井戸を掘り、用水路を建設してきた。  
 なぜ医者が井戸を掘り、用水路を建設したのか？  
 その答えは、命を見つめ続けた中村の生き様の中にあり、  
 私たちはこの映画で中村が生きた、その軌跡をたどることになる。



「彼らは殺すために空を飛び、  
 我々は生きるために地面を掘る。」 —中村哲

中村の誠実な人柄が信頼され、医療支援が順調に進んでいた2000年。思いもよらぬ事態に直面し、中村の運命は大きく変わる。それが“大干ばつ”だ。渇きと飢えで人々は命を落とし、農業は壊滅、医療で人々を支えるのは限界だった。その時、中村は誰も想像しなかった決断をする。用水路の建設だ。大河クナールから水を引き、乾いた大地を甦らせるというのだ。しかし、医師にそんな大工事などできるのか？ 戦火の中で、無謀とも言われた挑戦が始まった。

「ここには、天の恵みの実感、誰もが共有できる希望、  
 そして飾りのないむきだしの生死がある。」 —中村哲

専門家がいないまま始まった前代未聞の大工事は、苦難の連続だった。数々の技術トラブル、アフガン空爆、息子の死… 中村はそれらの困難を一つ一つ乗り越え、7年の歳月をかけ用水路は完成。用水路が運ぶ水で、荒野は広大な緑の大地へと変貌し、いま65万人の命が支えられている。そして—。

2019年12月。さらなる用水路建設に邁進する最中、中村は何者かの凶弾で命を奪われた。その報にアフガニスタンは悲しみに沈み、ニューヨークタイムズ、BBCなどが悲報を世界に伝えた。あれから2年半。日本ではその生き方が中学や高校の教科書で取り上げられ、母校の九州大学はその思索と実践を研究し始めた。中村の生き様は静かに語り継がれ、輝きを増しながら人々を励まし続けるだろう。そして用水路はこれからもアフガン人の命を支え続けていこう。

戦火のアフガニスタンで21年間継続的に記録した映像から、  
 これまでテレビで伝えてきた内容に未公開映像と  
 現地最新映像を加え劇場版としてリメイク。  
 混沌とする時代のなかで、より輝きを増す  
 中村哲の生きざまを追ったドキュメンタリー！



— [劇場版] について —

この映画は、2022年に完成した作品で [DVD版] とは異なって、2019年中村哲さんが凶弾に倒られた後の、アフガニスタンの状況を描いています。

朗読 石橋蓮司 / 語り 中里雅子  
 取材 柿木喜久男 / 大月啓介 / アミン・ウラー・ベグ  
 CG 平野雄一 / 音効 渡辺真衣 / 大島亮 / 演奏 中村幸  
 編集 櫻木まゆみ / 撮影・監督 谷津賢二 / 構成・制作 上田未生  
 文化庁文化芸術振興費補助金 / 独立行政法人 日本芸術文化振興会  
 企画 ペシヤワール会 / 製作 日本電波ニュース社2022年 / 日本 / カラー / 90分

